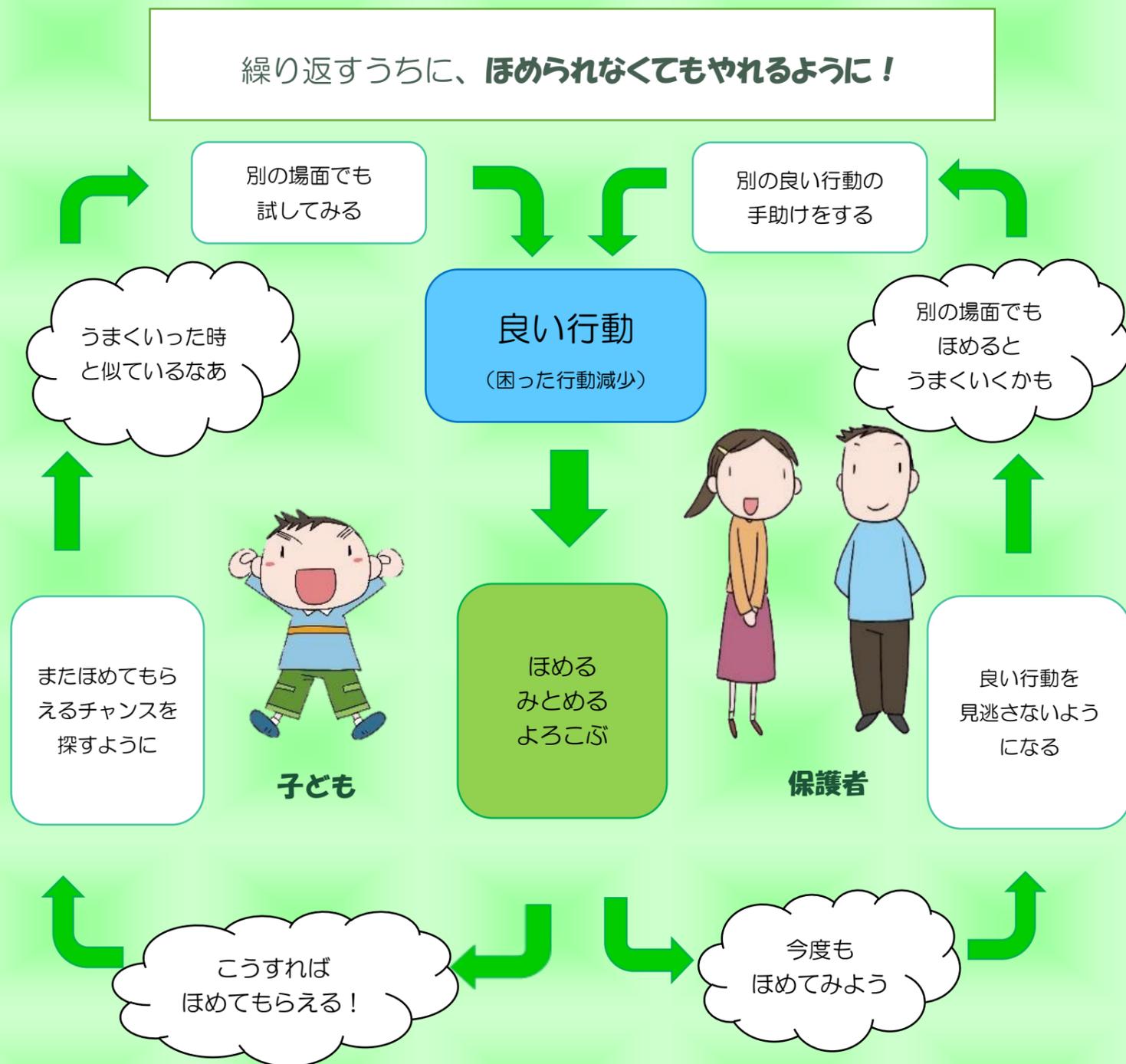


子どもへの声かけに一工夫！～どうやって、ほめる～

ほめるメリット～ほめることで親子ともに良いサイクルが生まれます～



●**実況中継で、ほめてみましょう**

子どもが、「今、していること」を、そのまま言葉にして伝えてみましょう。子どもは、保護者は自分のことを見ている、認めてもらえている、という感覚が得られます。

棚に本をいれて
いるね。

くつを履けたね。

●**25%できたら、ほめてみましょう** 全部できなくてもOK

100%完成してほめるのではなく、**25%を目安に「やろうとした気持ち」・「やりかけていること」をほめましょう。**

かばんにハンカチを
入れたね！

着替えようと
しているんだね

ボタンを
とめられたね

●**感謝の気持ちを伝えてみましょう。 THANK YOU**

「～すると、助かる!」「君は役に立つね!」とほめてみましょう。子どもの自己有用感(自分の存在が周りの人に役立っていると感じること)、自己効力感(自己に対する信頼感や有能感のこと)を育てることにつながります。

お皿を片付けてくれて
ありがとう。

お兄ちゃんがいっしょに
遊んでくれるから、
たずかるなあ。

子どもをほめることができるのは、保護者の方の「良い行動」です。ほめたときには、ぜひ、ご自分のこともほめてください。